

令和6年度 年間授業計画

教科名	国語	科目名	現代の国語	単位数	3
対象学年・組	第2学年 A・B・C・E組				
使用教科書	「新編 現代の国語」大修館書店				
使用教材	「漢字ボックス」「漢字反復ノート」浜島書店・「新訂版 最新国語便覧」浜島書店				

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わりとす態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・文	書・読					
1 学 期	A 単元 「コミュニケーションは技術だ」 【知識及び技能】 主張と根拠の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、コミュニケーションに前向きに取り組もうとする。	・筆者のコミュニケーションに対する考え方を読み取る。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 主張と根拠の関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、コミュニケーションに前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	6
	B 単元 日本語を使いこなす「ことばの使い分け」「正しく書く」 【知識及び技能】 場面や目的に応じ、適切な言葉を選ぶ。 正しく適切な表記を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた適切な言葉や表現を工夫し、自分の考えが的確に伝わるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な言葉の表現を意識しながら、意欲的に学習に取り組む。	・場や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 場面や目的に応じ、適切な言葉を選んでいる。 正しく適切な表記を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた適切な言葉や表現を工夫し、自分の考えが的確に伝わるようにしている。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な言葉の表現を意識しながら、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	C 単元 説明のしかたをとらえよう「ナンバークンか、オンリーワンか」「生きることに食べることの意味」 【知識及び技能】 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組む、説明のしかたをとらえる。	・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組む、説明のしかたをとらえようとしている。	○	○	○	10
	D 単元 絵や写真を説明しよう 【知識及び技能】 正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手にわかりやすく伝わるように文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 わかりやすく説明する文章を書くことに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとする。	・絵や写真などの情報を説明する文章を書く。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手にわかりやすく伝わるように文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 わかりやすく説明する文章を書くことに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
2 学 期	E 単元 論理の展開を読み取ろう「主張と根拠を見つける」「オカヒの胃袋はいくつか」「水の東西」 【知識及び技能】 主張と根拠など、情報と情報との関係について理解する。 具体例の働きや具体と抽象との関係をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組む、具体と抽象の関係、筆者の主張などをとらえる。	・筆者の主張とその根拠を意識しながら読む。 ・対比の関係に着目する。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 主張と根拠など、情報と情報との関係について理解している。 具体例の働きや具体と抽象との関係をとらえている。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組む、具体と抽象の関係、筆者の主張などをとらえようとしている。	○	○	○	12
	F 単元 「対話のレッスン」 【知識及び技能】 話し言葉の特色をふまえ、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 相手や場面に配慮し、話の内容や表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション力を高めることに関心を持つ。	・相手や場面に配慮した言葉遣いや表現の仕方を知る。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 話し言葉の特色をふまえ、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現の仕方を理解し、使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 相手や場面に配慮し、話の内容や表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション力を高めることに関心を持ち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	G 単元 「情報の力関係」「世界は私にほえんでいる」 【知識及び技能】 主張と根拠など、情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章や図を相互に関連づけながら内容や書き手の意図を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章や図から、必要な情報や筆者の主張を読み取る。	・図との関係に注意しながら文章を読み取る。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 主張と根拠など、情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章や図を相互に関連づけながら内容や書き手の意図を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章や図から、必要な情報や筆者の主張を読み取る。	○	○	○	11
	H 単元 「意見文の基礎を学ぼう」「反対意見を想定した意見文を書く」 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識して、文章の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 意見文を書くことに興味を持ち、意見文の基礎を習得する。	・意見文の基本的な書き方と構成の仕方を知る。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識して、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 意見文を書くことに興味を持ち、意見文の基礎を習得しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1
3 学 期	I 単元 「何のために働くのか」「自分の考えをつくるために」 【知識及び技能】 筆者の主張とその根拠の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張を的確に読みとり、文章の内容について自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとする。	・筆者の主張を的確に読みとる。 ・読み取ったことをふまえ、自分の考えを広げる。 ・教科書、プリント		○	【知識及び技能】 筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張を的確に読みとり、文章の内容について自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	○	○	○	27
	学年末考査					○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	地理歴史	科目名	地理総合	単位数	2
対象学年・組	2 学年 A・B・C・E 組				
使用教科書	第一学習社 高等学校 地理総合、 帝国書院 標準高等地図				
使用教材	地理総合ノート（教科書準拠） 第一学習社				

教科の目標

【知識及び技能】	現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解すること。
【思考力、判断力、表現力等】	現代世界の地域構成について位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し表現すること。
【主体的に学習に取り組む態度】	授業を始めとする教科の活動で、しっかりと取り組むことにより、上記の【知識及び技能】【思考力・判断力・表現力】で記載した内容について、学び、身につけようとする姿勢を高めること。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
世界の生活文化の多様性を、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを活用して、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	・ 地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解する。 ・ 地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解する。	教科書の1年間の学習内容 第1編1章1節 地球上の世界と地図 ①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差	【知識・技能】地図を持たない人々の生活の工夫について理解する。地球の位置の示し方や時差の考え方を身に付けている。 【思考・判断・表現】地軸の傾きと太陽の南中高度の季節による違いを理解し、太陽の見かけ上の位置と地球上の季節変化の関係性を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな図法によってつくられた地図の特徴に興味・関心を抱き、目的に応じた地図の利用について正しく選択することができる。	○	○	○	5
	・ 地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。 ・ 日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。	④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用	【知識・技能】メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身に付けている。GNSSのしくみと実社会での活用例を理解している。 【思考・判断・表現】・地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。GNSSのどのような技術が活用されているかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな図法によってつくられた地図の特徴に興味・関心を抱き、目的に応じた地図の利用について正しく選択することができる。GISなど新しい地図表現に関心をもつことができる。	○	○	○	7
	学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。	定期考査、定期考査の復習	定期考査の結果	○	○	○	2
1 学 期 期 末	・ 国家とは何かを学習し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解する。 ・ 日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものがあるかを、理解する。 ・ 「モノ」「資本」の移動による国家間の結びつきや、それらの課題を理解し、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。	2節 国家の結びつきとグローバル化する社会 ①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	【知識・技能】日本の領域と周辺諸国との間に抱える領土問題について理解している。主な国際機関について、歴史的背景をもとに知識として身に付け、最近の動きも理解している。 【思考・判断・表現】世界の領土問題には平和的に解決した事例があることを理解し、日本が抱える領土問題の解決に向けて、政府や個人として必要となることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題について調べ、現状と課題をまとめることができる。	○	○	○	7
	・ 人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。 ・ 世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえる。	第2編1章 ①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候	【知識・技能】人々の生活に彩りを与える気候のメカニズムについて理解し、気候要素と気候因子の関係性について整理することができる。 【思考・判断・表現】世界各地に現象面として現れる自然環境の地域性について、成因とからめておおまかにとらえ、その地域の産業とも結びつけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】世界の自然環境について、なぜ現在のような分布になったのか、関心をもつことができる。	○	○	○	2
	学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。	定期考査、定期考査の復習	定期考査の結果	○	○	○	1
2 学 期 中 間	・ 世界の特色ある生活文化のうち、地理的環境の影響を色濃く受けた衣食住の事例を通して学ぶ。 ・ 世界の特色ある生活文化は、地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のちも新たな変化が生じていることを学習する。	③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々と共生	【知識・技能】世界の伝統的な衣食住は、その地域の自然環境の影響を受けて成立していることを理解している。 【思考・判断・表現】世界の衣食住の写真から、自然環境に影響を受けた事例や、社会環境に影響を受けた事例など、それぞれの特徴を読み取って整理し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】世界の人々の生活様式について、どのような特徴があるか、興味をもつことができる。	○	○	○	5
	・ 5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び、地理で学習する地球の課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。 ・ 現在、直面している地球の課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。	第2編2章 1節 持続可能な社会を目指して ①持続可能な開発目標（SDGs） ②地球の課題の地理的な側面 2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて ①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用	【知識・技能】国連が採択した持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標と地理で学習する地球の課題の関係を理解できる。 【思考・判断・表現】持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けては、「地球規模で考え、足元からの行動を」（Think globally act locally）の考え方が重要であることを理解し、それらは個人の態度だけでなく、国家や地方自治体、企業などにも求められる姿勢であることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】人間が直面する地球の課題にはどのようなものがあるかに、まずは関心を持つことができる。	○	○	○	7
	学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。	定期考査、定期考査の復習	定期考査の結果	○	○	○	2
2 学 期 期 末	・ 地球の課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解する。 ・ SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。	⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題 3節 自然と調和した豊かな社会に向けて ①技術革新と持続可能な産業化 ②限られた資源 ③都市・居住問題 4節 現役世代と将来世代のための地球 ①地球温暖化問題 ②陸地の環境問題	【知識・技能】資源には限りがあり、偏在していることに気づき、世界のエネルギー利用の変化を理解し、新エネルギー開発と利用の必要性について考えることができる。 【思考・判断・表現】人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題などの地球の課題について、地域性を踏まえて考察でき、その問題の所在や解決の方向性について、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】身の回りに見られる再生可能エネルギーについて、そのメリットとデメリットを比較して、持続可能な社会に必要なエネルギー構成を構想する姿勢があらわれている。	○	○	○	8
	・ 一定地域の地理的環境と深く関連し、長い歴史をとおして育まれた民族性について理解した上で、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案することができる。	⑤海洋の環境問題 5節 平和で公正な社会に向けて ①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際的なパートナーシップ	【知識・技能】世界の民族とは、共通の帰属意識（アイデンティティ）を持つ集団であり、世界の多くの国は複数の民族により構成される多民族国家であり、多文化社会を構成して多民族が共生している国もあれば、内部に対立を抱える国も存在することを理解できる。 【思考・判断・表現】長い歴史をとおして育まれた民族性について理解した上で、現在発生している民族問題の本質を考察し、レポートなどにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】地球の課題は、地域によって現れ方が異なっており、その地域性に関心をもつと同時に、その地域性に応じた取り組みを考えようとする態度が身につく。	○	○	○	6
	学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。	定期考査、定期考査の復習	定期考査の結果	○	○	○	2
3 学 期	・ 日本に暮らす人々の生活は、気候や局地的な気候、地形などに影響を受けていることを理解する。 ・ 変動帯で見られる地震や火山の特徴を体系的に学び、その備えについて具体例を通して理解する。 ・ 防災や減災のために地形図を活用するため、地形図の読図について理解する。 ・ 自然災害に備えるためには日常の心構えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解する。 ・ 地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。 (なお、この章は、生徒の学習状況などを配慮し、前半に入れる場合もある。)	第3編1章 ①地球規模で見る地形の姿と自然災害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③変動帯の自然と防災 ④湿潤地域の自然と防災 ⑤私たちができる災害への備え 2章 ①地 域 調 査 の 方 法	【知識・技能】新旧地形図の比較から、地域で想定される自然災害を想像することができる。教科書に掲載されている写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害が多発する日本列島に、豊かな文化が築かれた背景を考察できている。 【思考・判断・表現】自然災害の多い日本列島でも、人々の生活に大きな影響を与える火山災害、水害、地震について、現象やこれまで受けてきた被害を理解するとともに、先人の知恵と工夫が詰まった災害に備え、災害とともに暮らす生活について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】災害に見舞われた際になるべく減災できるよう、地域防災力を高めるために一人一人ができることを話し合い、地域に還元することができる。	○	○	○	8
	学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。	定期考査、定期考査の復習	定期考査の結果	○	○	○	2

令和6年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	2
対象学年・組	2年 A組・B組・C組・E組				
使用教科書	新 高校の数学Ⅱ（数研出版）				
使用教材	ポイントノート数学Ⅱ（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数的に解釈したり、数的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数的に解釈したり、数的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	第1章 複素数と方程式 【知識及び技能】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること ・多項式の除法や分式式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること 【思考力・判断力・表現力】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな式について、数学的活動を通して修得・考察しようとする態度がある。	・三次の乗法公式及び因数分解の公式 ・多項式の除法や分式式の四則計算 ・複素数の四則計算 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係 ・因数定理、簡単な高次方程式の解	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
1 学 期 期 末	第1章 複素数と方程式 【知識及び技能】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること ・多項式の除法や分式式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること 【思考力・判断力・表現力】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな式について、数学的活動を通して修得・考察しようとする態度がある。	・三次の乗法公式及び因数分解の公式 ・多項式の除法や分式式の四則計算 ・複素数の四則計算 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係 ・因数定理、簡単な高次方程式の解	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期 中 間	第2章 図形と方程式 【知識及び技能】 ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと ・座標平面上の直線や円を方程式で表すこと ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること ・簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること 【思考力・判断力・表現力】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること ・数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどとして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること 【主体的に学習に取り組む態度】 図形と方程式について、数学的活動を通して修得・考察しようとする態度がある。	・平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離 ・直線や円の方程式 ・軌跡 ・不等式の表す領域	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期 期 末	第2章 図形と方程式 【知識及び技能】 ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと ・座標平面上の直線や円を方程式で表すこと ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること ・簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること 【思考力・判断力・表現力】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること ・数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどとして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること 【主体的に学習に取り組む態度】 図形と方程式について、数学的活動を通して修得・考察しようとする態度がある。	・平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離 ・直線や円の方程式 ・軌跡 ・不等式の表す領域	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第3章 三角関数 【知識及び技能】 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること ・三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること 【思考力・判断力・表現力】 ・三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること 【主体的に学習に取り組む態度】 三角関数について、数学的活動を通して修得・考察しようとする態度がある。	・一般角、弧度法 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴 ・三角関数の相互関係などの性質 ・三角関数の加法定理、2倍角の公式、三角関数の合成	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	理科	科目名	化学基礎	単位数	2
対象学年・組	2学年 A・B・C・E組				
使用教科書	化学基礎（実教出版）				
使用教材	プリント				

教科の目標

【知識及び技能】	正しい情報を得て、科学的な用語や事象を答えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】	正しい情報を共有し、対話を通して理解を深め、課題の解決ができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	自らの資質・能力を理解し、授業を通してより発展するように取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
観察、実験などを通して、化学の原理・法則を見いだすとともに、基本的な概念を身につけている。 自ら考え、見通しをもって主体的に観察、実験を行い、化学的に探求する技能を身につけている。	身近な物質とその変化の中から問題を発見だし、研究する過程を通して、化学的に正しく判断し、的確に表現できる。	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高め、それらを積極的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	A 化学と人間生活 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・日常生活を支える物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
	B 物質の探究 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・物質の構造や性質、粒子の熱運動と粒子間に働く力に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質の分離や元素の確認などの実験から、単体や化合物・混合物について考察できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
1 学 期 期 末	C 物質の構成粒子 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・物質を構成する原子の構造や、元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変化することを探究しようとする。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを、推論できる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	8
	D イオン結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	イオン結晶がどのような粒子からなり、どのような力で結びついているのかを探究しようとする。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオン結合でできた物質について、その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期 中 間	E 共有結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・分子結晶や共有結合の結晶がどのような粒子からなり、どのような力で結びついているのかを探究しようとする。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 分子間力や共有結合でできた物質について、その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	5
	F 金属結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・金属結晶がどのような粒子からなり、どのような力で結びついているのかを探究しようとする。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 金属結合でできた物質について、その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期 期 末	G 物質と化学反応式 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	化学変化の量的関係に興味をもち、意欲的にその関係を探究しようとする。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子量、分子量、式量と物質量及び化学反応式を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができる。また、実験結果から化学変化の量的関係を考察できる。	○	○	○	8
	H 酸と塩基 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・酸・塩基、中和反応に関心をもち、それらを日常生活と関連付けて意欲的に探究しようとする。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 酸化還元反応 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・燃焼や金属の溶解など、身近な酸化還元反応に興味をもち、それらの共通性を意欲的に探究する。 ・教科書、プリント ・グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1

授業時数合計

70

令和6年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象学年・組	2年A・B・C・E組				
使用教科書	大修館書店 新高等保健体育				
使用教材	なし				

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、 実生活への取り入れ方	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫すると	・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、フェアなプレイを心掛ける ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ・ひとりひとりの違いを大切にし、互いに高めあうようにする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【理由付けする・関連づける】 (オリエンテーション) 体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。 【具体化する・構造化する】 (身体づくり運動・体力テスト) 体力を高める運動の仕方を理解し実践できるようにする。 計測方法を理解し正確に実施することができる。 (マット運動) 回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができる。 回転系の基本的な技を構成し演技することができる。 (水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。	オリエンテーション 身体づくり運動 体力テスト 武道 (柔道) 水泳	【知識及び技能】① 【思考力・判断力・表現力】② 【主体的に学習に取り組む態度】③ 主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか①②③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか②③ 安全に配慮して行動することができる①②③ 体の使い方が適切にできているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する	○	○	○	25
2 学 期	【具体化する・構造化する】 (水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 速く正確に泳げるようにする。 (バドミントン) フォアハンド・バックハンド及びサーブの習得。 スマッシュ・ドライブ・ハイクリア・ドロップショットの習得。 シングルス・ダブルスのルールを理解し公正に試合ができるようにする。 (サッカー) 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようにする。 個人的技能および集団的技能 (ソフトボール) 用具の使い方など安全に配慮して行動する ボールの投げ方をスムーズに行うことができる バッティングがスムーズにおこなうことができる (卓球) フォアハンドドライブ・バックハンドドライブ及びサーブの習得。 ラリーを続けられるようにする。 シングルス・ダブルスのルールを理解し公正に試合ができるようにする。 (長距離走) 長距離走の特性を理解し、効率的なフォームで走ることができる。 一定の時間、安定したペースで走ることができる。	武道 (柔道) 水泳 バドミントン サッカー 卓球 ソフトボール 陸上競技 (長距離走)	主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか①②③ 状況に応じた攻防が出来ているか①② 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①② ルールを理解し公正に試合が出来ているか①②③ 状況に応じたショットを打つことができるか①② 一定の時間、安定したペースで走ることができるか①②③ 相手に配慮したパスを出すことができるか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する	○	○	○	30
3 学 期	【具体化する・構造化する】 (長距離走) 長距離走の特性を理解し、効率的なフォームで走ることができる。 一定の時間安定したペースで走ることができる。 マラソン大会を完走する。 【理由付けする・関連付ける】 (体育理論) 運動やスポーツの楽しさ・必要性を理解し、豊かなスポーツライフを送ることができるようにする。	陸上競技 (長距離走) 体育理論	【観点】 公正な態度で試合ができるか②③ 安定したペースでより速く走ることができるか①② マラソン大会を完走できるか①②③ 運動やスポーツの意義を理解できているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストプリントチェックを行い評価する	○	○	○	15

令和6年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1
対象学年・組	2年A・B・C・E組				
使用教科書	新高等保健体育：大修館書店				
使用教材	プリント				

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたって心身の健康を保持・増進し豊かなスポーツライフを継続するための知識と技能の習得	学んだ知識・技能を活用し課題の解決に向けて様々な健康情報を収集・選択・判断・活用して対応できる思考力、判断力、表現力の育成	主体的に学習する姿勢や自ら思考・判断・表現する能力や態度を身に着ける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 思春期と健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する	思春期における心身の発達や性的成熟 思春期に起こりやすい健康課題結 婚生活と健康との関係 夫婦関係、親子関係と健康	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる 【思考力・判断力・表現力】 学習を通して、課題意識を持ち、健康課題を調べることや健康行動をとることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える健康に関心をもち、健康課題について意欲的に探究しようとする	○	○	○	1
	2 性意識の変化と性行動の選択 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する	受精・妊娠・出産の過程と健康課題 母子保健サービス		○	○	○	1
	3 結婚生活と健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する			○	○	○	3
	4 妊娠・出産と健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する			○	○	○	3
				○	○	○	3
2 学 期	5 家族計画 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する	加齢による心身の変化と健康課題 若年期の生活習慣と中高年期の健康との関係 働くことの意義と働き方の多様化 働く人における健康問題	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる 【思考力・判断力・表現力】 学習を通して、課題意識を持ち、健康課題を調べることや健康行動をとることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える健康に関心をもち、健康課題について意欲的に探究しようとする	○	○	○	3
	6 加齢と健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する			○	○	○	3
	7 高齢社会に対応した取り組み 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する			○	○	○	3
	8 働くことと健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する			○	○	○	3
				○	○	○	3
3 学 期	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する	汚染による健康への影響を考える 健康被害を防ぐための環境づくり	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる 【思考力・判断力・表現力】 学習を通して、課題意識を持ち、健康課題を調べることや健康行動をとることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える健康に関心をもち、健康課題について意欲的に探究しようとする	○	○	○	2
				○	○	○	1

令和6年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションI	単位数	3
対象学年・組	2学年 A組 B組 C組 E組				
使用教科書	VISTA English Communication II (三省堂)				
使用教材	プリント、高校 やさしくわかりやすい英文法(文英堂)、チャンクで英単語(三省堂)				

教科の目標

【知識及び技能】	外国語の特徴やきまりなどの理解や外国語の音声や語彙・表現、文法の知識を深める。
【思考力、判断力、表現力等】	外国語で情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きへの理解を深め、その知識・理解を4技能による言語活動において活用し、適切に運用する技術を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面・状況に応じて、英語で発信される情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を的確に理解し、これらを活用して自ら適切に表現できる力を養う。	英語という言葉の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話	発	書					
1 学 期	A 単元 LESSON 1 World Dance Performances 【知識及び技能】 ・〈動詞+目的語+to不定詞〉と〈疑問詞+to不定詞〉の文構造に関する事項を理解し、正しく使う。 ・さまざまな伝統舞踊の由来やパフォーマンスにこめられた意味について、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝統舞踊／映画／イベント／ダンスの授業について説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
	B 単元 LESSON 2 A Piece of Cake 【知識及び技能】 ・英語と日本語の慣用句について、理解する。 ・疑問詞やifで始まる節に関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・旅行に関しての質問に対して詳しく説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	17
2 学 期	定期考査								○	○		1
	C 単元 LESSON 3 Quokka 【知識及び技能】 ・オーストラリアの有袋類の動物クオッカについて、理解する。 ・使役動詞と知覚動詞に関する事項を理解し、正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・好きな本や歌について、自分の考えを書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	23
	定期考査								○	○		1
3 学 期	C 単元 LESSON 4 Designing Stamps 【知識及び技能】 ・玉木明さんへのインタビューについて、理解する。 ・形式主語itと形式目的語itに関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の切手について紹介する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	17
	定期考査								○	○		1
	C 単元 LESSON 5 Mont-Saint-Michel 【知識及び技能】 ・モン・サン・ミッシェルについて、理解し正しく使う。 ・現在完了進行形／過去完了形／過去完了進行形に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の世界遺産について、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	29
3 学 期	定期考査								○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2
対象学年・組	2学年 A組、B組、C組、E組				
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)				
使用教材	2024最新 生活ハンドブック 資料&成表&1C1 (第一学習社)				

教科の目標

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	Ⅰ.単元 生涯を見通して、自分らしい人生をつくる 【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があること、生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をすることの重要性や家族・家庭の機能と家族関係、生涯消費生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、家庭や地域よりよい生活を創造するために、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計や青年期の自立と家族・家庭について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向うために実践しようとする。	・指導事項 生涯を見通す 1人生を展望する 2目標を持って生きる 人生をつくる 1人生をつくる 2家族・家庭を見つめる 3これからの家庭生活と社会	【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会の関わりから様々な生き方があることを理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしようすることの重要性について理解を深めている。 ・生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、家庭や地域よりよい生活を創造するために、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計や青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返りたりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向うために実践しようとしている。	○	○	○	14
	Ⅱ.単元 衣食住をつくる 【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣食生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向うために実践しようとする。	・指導事項 衣食生活をつくる 1被服の役割を考える 2被服を入手する 3被服を管理する 4衣食の文化と知恵 5これからの衣食生活	【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣食生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向うために実践しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
1・ 2 学 期	Ⅰ.単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・自己の家庭生活や地域の生活を関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向うために実践しようとする。	・指導事項 ホームプロジェクト ・生活に活かそう	【知識及び技能】 ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向うために実践しようとしている。		○	○	2
	Ⅱ.単元 持続可能な消費生活・環境 【知識及び技能】 ・自立した生活を営むために必要な家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理、消費生活の現状と食品の調理上の性質、食品衛生の重要性、消費者保護の仕組みなどについて理解するとともに、生活情報の収集・整理が適切にできる。・生活・環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付ける。・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全・安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費費として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費費として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費費として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・指導事項 経済生活をつくる 1情報の収集・比較と意思決定 2購入・支払いのルールと方法 3消費者の権利と責任 4生涯の経済生活を見直す 5これからの経済生活 持続可能な生活を営む 持続可能な社会を目指して	【知識及び技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費生活における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。・生活・環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費費として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	Ⅰ.単元 住生活をつくる 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特性や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生の重要性、消費者保護の仕組みなどについて理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、自己や家族の食生活の向上と課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と健康な食生活に向けて、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と健康な食生活に向けて、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・指導事項 食生活をつくる 1食生活の課題について考える 2食事と栄養・食品 3食生活の選択と安全 4食生活の健康と安全 5調理の基礎 6食生活の文化と知恵 7これからの食生活	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特性や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と健康な食生活に向けて、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	14
	Ⅱ.単元 住生活をつくる 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境についての課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向うために実践しようとする。	・指導事項 住生活の変遷と住居の機能 2安全で快適な住生活の計画 3住生活の文化と知恵 4これからの住生活	【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境についての課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向うために実践しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	Ⅰ.単元 子どもと共に育つ 【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と親と周囲との関係的な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・子育てを営む中で子どもと養育者との関係について考えるとともに、子供の健全な発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、子どもと養育者との関係や親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、子どもと養育者との関係や親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・指導事項 子どもと共に育つ 1命を育む 2子どもの育つ力を知る 3子どもと関わる 4子どもとの触れ合いから学ぶ 5これからの保育環境	【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と親と周囲との関係的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・子育てを営む中で子どもと養育者との関係について考えるとともに、子供の健全な発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、子どもと養育者との関係や親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	5
	Ⅱ.単元 超高齢社会を生きていく 【知識及び技能】 ・高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、生涯を通じて家族・家庭の生活を支える家族や社会的支援について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割、家族や地域及び社会の一員としての自分自身をもって共に生活することの重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者の自立生活支援、家族や地域及び社会の果たす役割、地域及び社会の一員としての自分自身をもって共に生活することの重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者の自立生活支援、家族や地域及び社会の果たす役割、地域及び社会の一員としての自分自身をもって共に生活することの重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・指導事項 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢社会・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	【知識及び技能】 ・高齢者の心身の発達と生活、親の役割と保育、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と親と周囲との関係的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割、家族や地域及び社会の一員としての自分自身をもって共に生活することの重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者の自立生活支援、家族や地域及び社会の果たす役割、地域及び社会の一員としての自分自身をもって共に生活することの重要性について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1